

指先痛むリウマチ患者に配慮

目薬開封 器具で簡単

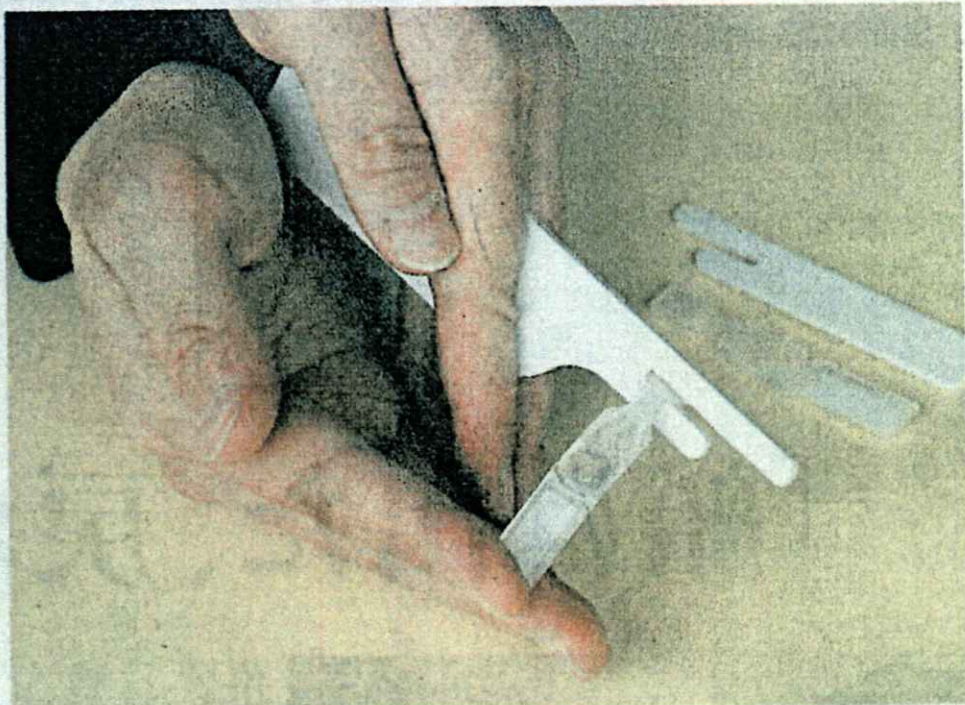
宇土市の村上医師開発



村上茂樹医師

リウマチで指先が不自由な重症ドライアイの患者が、簡単に目薬のカプセルを開けることができる板状の器具を、宇土市で眼科クリニックを開業する村上茂樹医師(49)＝順天堂

村上医師が開発した「使い切り点眼薬開封器」。装置を指の間に挟み、切り込みにカプセルのふたを差し込み、手首の回転で開ける



大客員准教授Ⅱが開発し、特許を取得した。「使い切り点眼薬開封器」と名付けた。試作品は軽量プラスチック製でカプセルのふたを挟み込む切り込みがある。指先でなく、指の間に装置を挟み、ふたを切り込みに差し込んで、手首を回転させて開ける。

防腐剤を含まない点眼薬で、人工涙液やヒアルロン酸を含むものがある。多くは重症の乾性角結膜炎(ドライアイ)を引き起こす「シエーグレン症候群」の患者に処方される。同症候群は、リウマチ患者の約20%に合併症として見られる。リウマチで手が変形すると、患者が指先で点眼

薬を開けることは困難という。

村上医師は、使い切り点眼薬を処方した同症候群のリウマチ患者から「指が痛くて開封できない」と聞き、開発を思い付いた。「ステイブンス・ジョンソン症候群などが原因の重症ドライアイで、著しく視力が低下している人も有効に使えるはず」と話している。

むらかみ眼科クリニック ☎0964(22)6600。(東寛明)